



福井商工会議所青年部会会報

# 福居



会 報

第 11 号

昭和60年2月24日発行

発行所

福井商工会議所青年部会

発行責任者

淡 島 洋

福井商工会議所青年部会

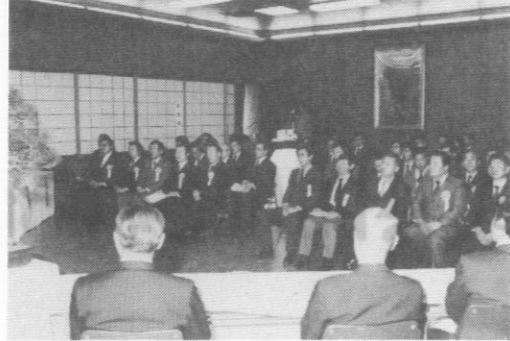
## 創立10周年記念式典開催される



1985. 2. 24 福井商工会館



隅で見守っていた。当時の会員一三四人に寄せられたことは「会議所内に新風をもたらし、活性化と共に活発な行動力に期待する」ということであった。初代表幹事の三谷宏治氏はじめ歴代会長の方々、および役員の方々の努力に敬意と感謝を捧げる、とあいさつした。また続けて、「この一〇周年式典を機に初志にもどり、諸先輩の指導を迎えつつ伝統と会風を堅持していきたい。また、かねてより念願であった商青連の全国大会を福井に今秋誘致したが、この



全力を投入する」と結んだ。栗田副知事、大武福井市長、谷川宏日本商工会議所理事、竹中勝治全国商工会議所青年部連合会代表幹事が祝辞を述べた。その後、品川一雄福井商工会議所副会長が激励の言葉を会員に送った。祝辞のなかで大武市長は「貴青年部は会議所の事業活動に協力するのみならず、福井市の街づくりを提唱して『無害害都市づくり』『青少年問題』などをテーマにした『市民の広場』の開催地で、さまざまな事業活動を積極的に取り組んできた。その事業活動は福井市の未来を思えば心強い。ドルシ



ヨック、オイルショック以降、経済成長の困難な時代である。現今エレクトロニクス化、情報化、ファッション化の中にあつて、いかに産業社会にそれらを取り組むかが今後の課題だ」と話した。また同市長は「いま建築中のフェニックスプラザで、商青連の全国大会を開催するなど若い経済人である諸君が丸となって地域経済への役割を一層認識し、ますます研鑽に努めるようお願いしつつ会員の繁栄を祈念する」と結んだ。その後、スライドで一〇年間の歴史を紹介して、OB会員から懐かしさの吐息がもれていた。山本青年部副会長がまた開会に続き、閉会のことばで一〇周年記念式典を結んだ。式典後、同じく商工会館五階大ホールで祝宴に入った。祝宴はエレクトロンの優しい音楽の流れる中、なごやかに運び、開宴での淡島会長、品川副会長、栗田副知事らの鏡開きで一挙に宴を盛り上げた。祝宴の場で全国大会を誘致するまでの歩みを紹介し、同大会へ向けての結起大会の様相をも呈していた。大会のユニフォームも紹介され、いやがうえにも全会員の

安全、経済的、快適ドライブをお約束するまごころイキイキマイ・ステーション、マイエツソ

①三の丸給油所 電話230892  
 ②新呉服町給油所 電話237425  
 ③日の出給油所 電話543539  
 ④間屋センター給油所 電話232312  
 ⑤順化給油所 電話230893  
 ⑥門前町給油所 電話341282

**Esso エッソ石油株式会社** 代理店  
**井上石油株式会社**  
 代表取締役 井上 彪  
 福井市日の出2丁目1番6号 電話(0776)23-0816



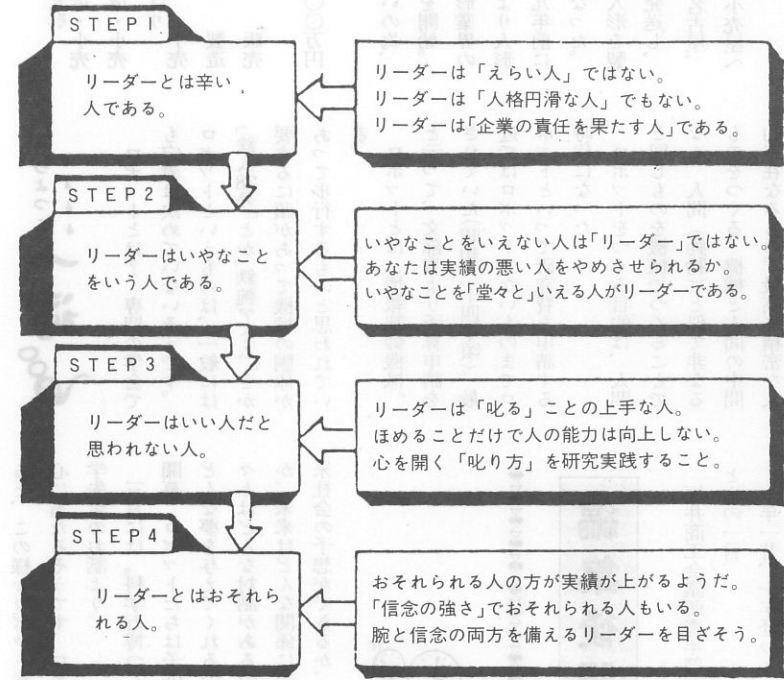
全国大会成功への意気は高揚した。当青年部会歴代会長を連記する。昭和五〇年三谷宏治、五一・五二年佐野俊男、五三年三谷政敏、五年森下龍男、五五年井上彪、五六年・五七年清水慶造、五八年古川伸一、五九年淡島洋の各会長（代表幹事）であった。祝宴は万歳三唱で結んだ。また式典に先がけて、為永麻記子鯖江ヘルスッキングスクール校長による記念講演があった。演題は「自分の健康は自分で守ろう」同講師は「今の時代は頭で食事を」と強調し、同師の明るいキャラクターが語調にも表われ、会員たちは時々笑いかみ殺しつつ熱心に聴き、メモをとっていた。

### 経営のエキス

牧田道男

追いつきのシーズン、自力の企業格差の大きくなる中で、  
 経営者自らのリーダーシップの発揮がものを云うことだろう。  
 経営者の条件 貴男のリーダーマンとは…

### 部下がやらねば「俺」がやる



●オフィスコミュニケーションに  
 ●イメージアップに  
 ●動くカタログに  
 ●生きた社史に

ビデオは  
 おいしい情報メディア。

**フクイアート** ビデオ事業部  
 株式会社  
 福井市春山2丁目1-3(伊東ビル2F) 電話(0776)23-4130

# 企業訪問

## おくむら人形

代表取締役

奥村 豊一



### 【会社概要】

本社 福井市足羽三丁目八三

及び足羽三丁目八三

創業 昭和二十四年

奥村商店（織物商として）

昭和四十三年五月

人形製造開始

昭和五十一年

おくむら人形として  
小売開始



従業員 八名  
営業品目 雛人形・三月人形  
製造・小売

五月人形 製造・小売  
鎧・兜・鯉のぼり 小売  
鎧・兜・部品 製造  
人形用裏地 販売  
年商 昭和五十九年  
八四〇〇万円

昭和四十三年に、父病いの為、経営を受継ぎ、人形製造を開始。ベビープームに乗った人形業界の中で、人形用裏地販売により人形製造に経営方針を転向。九年前に人形小売も開始の運びとなった。雛人形、浮世人形、武者人形を製造、その全てを埼玉県へ発送し、産地メーカーより東京、名古屋、大阪の間屋を通じ、各地小売屋へと広く納めている。近年、製造即小売のブターンへと努力を続けております。又、芸術的要素もより多く取り入れようと、県展等への作品を創り始めました。期待していただきたいと思っております。



ロボットとは？ 専門の学会でも定義は決めていないそうです。ロボットというものは、一般には「鉄人28号」とか「鉄腕アトム」とか要するに頭があつて機械の胴体があつて歩行するものと思われている。

ロボットとは「情報制御機械」と云つて、文部省より予算申請をされていた(昭和三十四年頃)。最近ではロボットでないものまでロボットといつて研究費を申請する時代になった。

ロボットをつくる目的は、人間と同じものを機械でつくることでなく、人間(動物)と似て非なるものをつくる。機械と人間の中間的存在なるもの。最高に精密な人工知能は開発されているが、今のロボットには自分がない。自我が目覚めたら、ロボットは完成でしょう。自我というのは妄想、人間の核心。仏教も核心。仏道を習うというのは自己を習うなり、自己を習うというのは自己を忘るるなり」という道元禅師の有名な言葉があるが、ロボットを研究してい

ると、この様なロボット哲学の核心に当たるそうです。ロボット工学先生のお話より。

三月には「科学万博つくば'85」開幕。ロボットたちは子供たちにどんな夢を与えてくれるのか、我々とはどんな対話があるのだろうか。未来はどんな関係になり、未来社会の予想ができるか。



### 編集後記

福井商工会議所青年部会おめでとうの一言。

十年一昔、十年経つといろんな思い出が出来るものだ。今、念願であった会報の編集後記を書いているのも思い出の一つとなろう。ちよつと一ぶく(書かなくては)したいが、次は商青連水戸大会へ参加して、福井大会秘策を練ろう。(慶)

井村屋・グリコ・ロッテ・雪印アイスクリーム特約・その他各種アイス  
特級天津甘栗

1袋でもご持参致します

特別価格500g 1000円、750g 1500円

アイスクリーム・缶ジュースの総合商社

## 小沢冷販株式会社

代表取締役社長 小沢 忠

〒910 福井市花堂東1丁目5-25

電話(0776)36-6355